

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第2学年

【単元名】 あきランドを作ろう（14時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや遊びに使うものをつくる面白さや、みんなで遊ぶ楽しさに気付いている。 ・みんなと進んで関わったり遊びを工夫できるようにになったりした自分自身に気付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しいあきランドにしようと遊びを考えたり工夫したりしている。 ・1年生にも喜んでもらえるような遊び方を考えながら準備をしている。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：休み時間に数人で始めた「ひみつきち」作りが学級中に広がり、ひみつきちが自分たちのお気に入りの場所になっていった。

生かす見方・考え方：自ら集めた材料を使い試行錯誤しながら遊びを自分ごとにしていくこと。

過程	学習活動（時間）	留意点
思いや願いをもつ	1 材料を集めよう（2）	<p>願いや見通しをもつ場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞校外への散歩を通して、材料の集め方を考える。 ☞一人一人の願いやこだわりを大切にして材料や道具を準備する時間を保障する。 <p>活動への願い：自分で集めたざいりょうをつかってあそびたい。</p>
活動や体験をする	2 あきランドを作ろう（6）	<p>個人で没り込む場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞願いやこだわりを明確にするために活動の終わりには見返す時間を設けたり考えたりする時間を確保する。
感じる・考える	3 あきランドを工夫しよう（4）	<p>繰り返し試行錯誤する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞気付いたこと、工夫したこと、できるようになったことなどを比べたり例えたりして意識付けましょう。 ☞友だちの考えとつなげたり共感したり称賛したりするような支援を行いましょう。
表現・行為する	4 あきランドを振り返ろう（2）	<p>対象への気づきを表現する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞これまでの活動を振り返って、できるようになったことや楽しかったことを絵や言葉で表現しましょう。 ☞工夫や頑張りを積極的に取り上げましょう。

次単元へのつながり：作ったあきランドに1年生を招待する。

- ・1年生と共に遊んだり、説明をしたりすることを通して、自分たちの作ったあきランドのよさを実感する。